

弱溶剤1液架橋型低汚染 リアルハイブリッドシリコン樹脂塗料

1液ユメロックDX

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

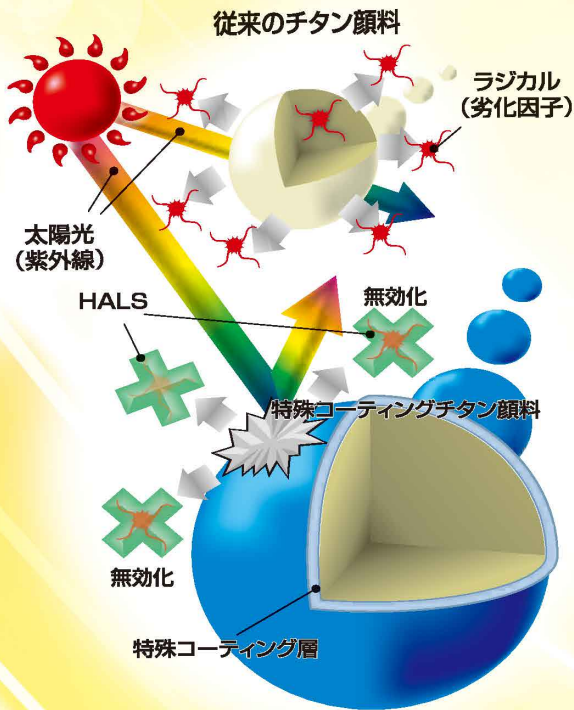
居室内で無制限に使用できます。



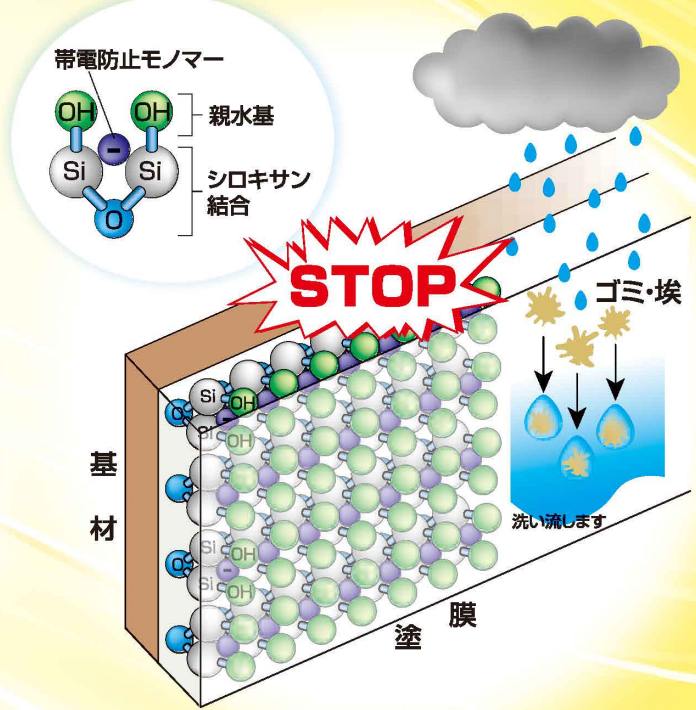
ロックペイント株式会社

1液ユメロックDX

ラジカルコントロールメカニズム



低汚染メカニズム



▶ラジカル制御技術

高耐候性の特殊コーティング酸化チタン(ホワイト)顔料とラジカル吸着安定剤(HALS)によるラジカルコントロール技術で、すぐれた耐候性・耐久性を実現します。
※ラジカルとは、塗膜中の酸化チタンから太陽光(紫外線)により発生する劣化因子のことで、これを吸着剤(HALS)で無効化します。

▶安心のF☆☆☆☆

ホルムアルデヒド放散等級は、面積制限のない最上位区分なので、屋外だけでなく、屋内にも制限なく使用できます。

▶環境配慮型・作業性

鉛・クロムなどの重金属を含まず、イソシアネートも配合しない安心設計です。弱溶剤タイプで、においがとてもマイルドで塗装環境にも適します。また硬化剤を配合せず、作業ミスと廃棄のムダを無くします。

▶低汚染技術

帯電防止モノマー配合により汚れを寄せ付けにくく、親水性の高い塗膜を形成し、セルフクリーニング効果で汚染物質を雨水で流します。

▶肉もち感と高光沢

隠ぺい性の良さとレオロジーコントロールによる塗りやすさと平滑性、肉もち感と光沢にすぐれます。



▶防藻・防カビ性

防藻・防カビ効果で、藻やカビの発生を抑えて長期に美観を維持します。

適応素材・下塗り

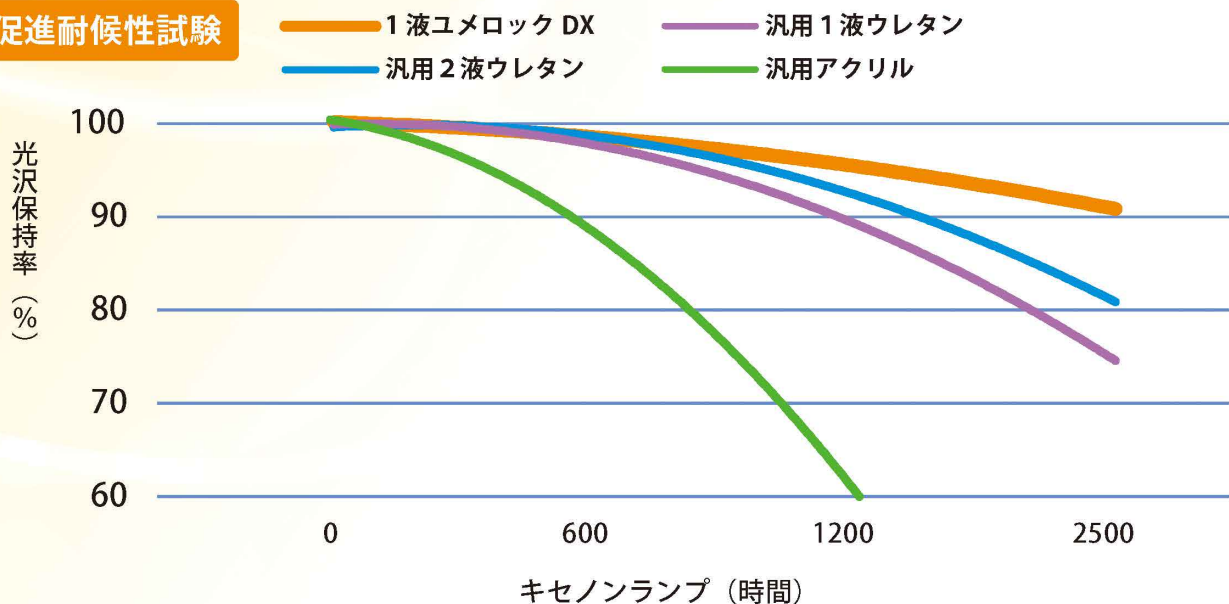
素 材	適 応 下 塗 り
窯業系サイディング※ コンクリート モルタル A L C	<ul style="list-style-type: none"> ● ハイパーシーラーエポ【※：親水性など特殊コーティングタイプ時】 ● ユメロックシーラー ● エポシーラーマルチ ● ロックS Bフィラー ● ロックカチオンシーラーマルチⅢ ● ビニロックエラスティックフィラーⅢ
鉄部 亜鉛メッキ アルミ	<ul style="list-style-type: none"> ● 2液型サビカット ● サビカットプラス ● サビカットⅡ
ガルバリウム鋼板	● 2液型サビカット
木部	● ロック木部用マルチ下塗り
FRP・硬質塩ビ	(サンドペーパー等で十分に足付けを行う)

▶ 耐候性・耐久性

独自のリアルハイブリッド樹脂の特性を活かして、三次元に架橋した網目状構造のアクリルシリコン樹脂塗膜を形成します。緻密な塗膜は、耐UV性により高耐候性を示すと共に、耐水性・耐アルカリ性・耐衝撃性にすぐれます。

※促進耐候性(キセノンランプ法)2,500時間で光沢保持率80%以上と建築用耐候性上塗り塗料1級相当です。

促進耐候性試験



使用方法

上塗りの調色には、必ず 024 ライン 1 液ユメロック DX 原色またはロックトーンカララント 3000 (ベースの 3% 以内) を使用してください。

塗装条件	ハケ	ローラー	エアレス
希釈率※1	5 ~ 15%		10 ~ 20%
希釈剤	塗料用シンナー※2		
標準塗付量※3	0.11 ~ 0.13kg / m ² ・回		

※1：塗料 100 に対して

※2：塗料用シンナーを使用ください。冬期は、エナメルシンナーを使用いただけます。

※3：塗装時のロスを考慮しています。

塗装条件	指触乾燥	塗り重ね可能時間※4・5・6
23℃	20分	2時間以上

※4：天候、気温、湿度や膜厚、被塗物の状況により多少ズレることがあります。

※5：異なる色で塗り重ねる場合は、24時間(23℃)以上間隔をあけて、強く擦らないように手早く行ってください。

※6：2液型の下塗りを使用する際は、下塗り塗装後、上塗りまで24時間(23℃)以上の間隔をあけてください。

標準塗装仕様

塗り替え

1 窯業系サイディングボードなどの塗り替え

工程	塗料名	希釈剤	塗装方法・希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地処理	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	032-2001 ロックSBフィラー※1	水	ハケ : 1~5 ローラー : 1~5	1	0.2~0.4	3時間以上
上塗り	024 ライン 1液ユメロックDX 指定色	塗料用 シンナー	ハケ・ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上

2 コンクリート、モルタルなど可とう形改修塗材Eを使用した塗り替え

下地処理	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	032-2106 ビニロック エラスティックフィラー-III※2 (可とう形改修塗材E)	水	ローラー : 5~10 エアレス : 5~10 砂骨ローラー : 1~5	1	0.3~0.5 0.8~1.5	8時間以上
上塗り	024 ライン 1液ユメロックDX 指定色	塗料用 シンナー	ハケ・ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上

※1：窯業系サイディングボード面で光触媒処理や無機系コーティング材など付着しにくい面には、ハイパーシーラーエボ (弱溶剤 2液型・透明・ホワイト) を下塗りに使用してください。

※2：塗装用具はローラー、エアレス、砂骨ローラーの他にリシンガン、タイルガンも使用できます。

3

コンクリート、モルタルなど外装材の塗り替え（ロック建築用シーラー※3を使用）

工程	塗料名	希釈剤	塗装方法・希釈率（%）	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地処理	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	033-8150 エポシーラーマルチ※4	塗料用 シンナー	ハケ・ローラー：0（通常不要） エアレス：0（通常不要）	1	0.08~0.10	3時間以上
上塗り	024ライン 1液ユメロックDX指定色	塗料用 シンナー	ハケ・ローラー：5~15 エアレス：10~20	2	0.11~0.13	2時間以上
4 鉄部・非鉄金属などの塗り替え						
下地処理	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、さびなどは、電動工具、手工具で除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあいなどはサンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	061ライン サビカットII各色※6	塗料用 シンナー	ハケ・ローラー：0~10 エアレス：10~20	1	0.12~0.14	4時間以上 7日以内※5
上塗り	024ライン 1液ユメロックDX指定色	塗料用 シンナー	ハケ・ローラー：5~15 エアレス：10~20	2	0.11~0.13	2時間以上
5 硬質塩ビ（雨樋など）・F.R.P.面の塗り替え						
下地処理	ゴミ、汚れ、油分などはワイヤーブラシなどで完全に除去する。塗装する前にサンドペーパーP240～P400で研磨による足付けを行う。					
下塗り	024ライン 1液ユメロックDX指定色	塗料用 シンナー	ハケ・ローラー：5~15 エアレス：10~20	1	0.11~0.13	2時間以上
上塗り	024ライン 1液ユメロックDX指定色	塗料用 シンナー	ハケ・ローラー：5~15 エアレス：10~20	1	0.11~0.13	—
6 木部の塗り替え※7・8						
下地処理	オービタルサンダーでP180～P240ペーパーを用いて、汚れ、付着物、ケバダチを除去して平滑な面にする。木のヤニは削り取るか、又は焼きゴテで処理し、揮発油でふきとる。節およびその周辺はセラックニスで節止めを行い、穴埋めの必要なときは、ロックポリパテで穴埋めを行う。					
下塗り	051ライン ロック木部用マルチ下塗り各色※9	塗料用 シンナー	ハケ・ローラー：5~15 エアレス：10~20	1	0.12~0.20	4時間以上 7日以内※5
上塗り	024ライン 1液ユメロックDX指定色	塗料用 シンナー	ハケ・ローラー：5~15 エアレス：10~20	2	0.11~0.13	2時間以上

※3：吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。

※4：エポシーラーマルチ（透明）の他に、ハイパーシーラーエポ（弱溶剤2液型・透明・ホワイト）、ユメロックシーラー（弱溶剤2液型・透明・ホワイト）、ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト、ロックカチオンシーラーマルチIII（透明）があります。

※5：夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かずに行ってください。上塗りとの付着性が低下します。

※6：鉄部、非鉄金属部の下塗りには、1液型変性エポキシ系の「サビカットプラス」や弱溶剤型2液変性エポキシ系「2液型サビカット」、水性エポキシ系「水性サビカット（2液型）」を使用することもできますが、高防食性が必要な場合や、亜鉛目付量が多い鋼板には「2液型サビカット」を推奨します。

※7：木部については、用途（カウンター、テーブル、椅子、棚、床等）により塗装に不適な場合がありますので、弊社営業までお問い合わせください。

※8：木部の塗装については木の材質などによりはがれ、割れを生ずることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し確認してください。

※9：ロック木部用マルチ下塗りは、ホワイト、チョコレート、ブラックの3色あります。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮にいれた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。

種類・容量

品番	品名	容量	
024-5204	1液ユメロックDX ホワイト	15kg	—
024-5225	1液ユメロックDX オキサイドレッド	15kg	3kg
024-5233	1液ユメロックDX オーカー	15kg	3kg
024-5234	1液ユメロックDX ブラック	15kg	3kg
024-5024	1液ユメロックDX ファインエロー	15kg	3kg
024-5029	1液ユメロックDX オレンジ	15kg	3kg
024-5036	1液ユメロックDX バイオレット	15kg	3kg
024-5040	1液ユメロックDX シンクレッド	15kg	3kg
024-5075	1液ユメロックDX シアニンググリーン	15kg	3kg
024-5080	1液ユメロックDX ロイヤルブルー	15kg	3kg
024-5210	1液ユメロックDX レッド	15kg	3kg
024-5095	1液ユメロックDX フラットベース	15kg	3kg

関連下塗り塗料

分類	品番	品名	容量		
木部	051-1531	ロック木部用マルチ下塗り	ホワイト	16kg	4kg
	051-1532		チョコレート		
	051-1533		ブラック		
下地調整材	032-2001	ロックSBフィラー	15kg		
	032-2106	ビニロックエラスティックフィラーⅢ	16kg		
シーラー	033-6150	ハイパーシーラーエポ	(透明)	12.5kg	
	033-6110		ホワイト		
	033-6910	ハイパーシーラーエポ 硬化剤	2.5kg		
	033-5150	ユメロックシーラー	(透明)	12.5kg	
	033-5110		ホワイト		
	033-5910	ユメロックシーラー 硬化剤	2.5kg		
	033-8150	エポシーラーマルチ	14kg		
	033-1179	ロックカチオンシーラーマルチⅢ	15kg		
	033-1160	ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト	15kg		
プライマー	061-1540	サビカットⅡ	赤サビ色	16kg	4kg
	061-1541		グレー		
	061-1542		ホワイト		
	061-1544		ブラック		
	061-7530	2液型サビカット	赤サビ色	14.4kg	
	061-7531		グレー		
	061-7532		ホワイト		
	061-7534		ブラック		
	061-7910	2液型サビカット 硬化剤	1.6kg		

施工上の注意

- 塗る面のゴミ、カビ、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温及び躯体の温度が5℃以下の場合や、湿度85%以上の塗装は避けてください。（風通しが悪い場合や湿度が高い場合は、気温が高くても乾燥時間が通常よりかかることがあります。）
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 希釈には必ず塗料用シンナーを使用してください。他種のシンナーを使用すると塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また必要以上に希釈すると、光沢、隠ぺい性が低下したり、たれや色分かれの原因になります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります（例えば、一度に所定量以上塗装すると硬化・乾燥不良を起こし、塗膜に割れ、ふくれ、ちぢみが発生する場合があります。また、塗付量が少ない場合や、希釈しすぎた場合、膜厚不足により塗膜不良となる事があります。）。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。被塗物の形状、素材、塗装方法などによって多少異なります。
- この仕様書はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプを使用しています。塗装工程上F☆☆☆☆以外の材料（被塗物、素地も含む）を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- たえず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 防藻・防カビ効果は繁殖を抑制するため、既に発生している被塗面には、下地処理として除去および防藻・防カビ処理剤などで殺菌処理した後、塗装してください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 下地の種類、状態によっては、下塗りや表面荒らしが必要な場合があります。
- 金属部の塗装には変性エポキシ系のさび止め「サビカットII」、「サビカットプラス」、「2液型サビカット」をご使用ください。
- シーラーを吸い込みの着しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- 2液型の下塗りを使用する際は、下塗り塗装後、上塗りまで24時間(23℃)以上の間隔を空けてください。
- 改修塗装の場合、素地の種類や、下地処理方法によって、付着不良やリフティング等の塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りをおすすめします。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜（弾性リシン、弾性スタック）やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など）を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。またプライマーで処理しても、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、剥離、収縮割れが発生する場合があります。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増し打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えをご検討ください。
- 塗装面の取り合い等で、可塑剤を含む塩ビ鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなどへの直接の塗装は、塗膜が軟化することがありますので避けてください。また塗膜が、これらの素材に接触・付着しないように注意してください。
- 光沢のある目付量の多い溶融亜鉛めっき面は光沢がなくなるまで放置した後、2液型変性エポキシ樹脂プライマーを下塗りに塗装してください。
- カウンターやテーブル、椅子、棚、床等への塗装は避けてください。
- 木部の塗装については木の材質等によりハガレ、割れを生じることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し、確認してください。
- 内部の塗り替えて、旧塗膜が合成樹脂調合ペイントやフタル酸樹脂エナメルなどの油性系の場合、ペーパーがけを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離になることがあります。
- 木部塗装で釘頭には、サビカットシリーズを塗装してください。釘頭が錆びている場合は、サンドペーパーを用いてさびを除去してからサビカットシリーズを塗装してください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ビニロックエラストックフィラーⅢを砂骨ローラーで塗る場合には、最初に配り塗りを行い、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにムラが生じないように行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- スプレーノズルの先端は、時々洗浄してください。作業効率の低下および塗りムラの原因になります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 塗色が濃色の場合、塗膜を強くこすると色落ちすることがありますので注意してください。
- 低汚染性については、被塗物の種類や建物の形状により、また、施工後特に塗膜が十分に乾燥する前、もしくは乾燥して初期の段階で天候不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合があります。
- つやの調整品は、被塗物の形状、状態、塗膜厚や塗色などにより、実際につやと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し、確認してください。また、塗り継ぎや補修の際につやむらが出やすいため、面を切って塗装してください。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では、塗膜の白化、ふくれが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築用シーラーで適切なものを使用してあらかじめ下塗りをしておいてください。
- エマルションパテの外部での使用は避けてください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- シーラー類や各種上塗り塗装には防錆性がありませんので、金属製でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。
- 外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように、換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- 汚れたウエスをまとめて置いたり、スプレーダストなどがたまってくると発熱し、自然発火のおそれがあります。使用済みのウエス、塗料かす、スプレーダスト等は、廃棄するまで水を張った容器に保管してください。
- 上塗り鮮やかなエロ一系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠蔽性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色（近似色）で下塗り塗装した後、上塗り塗装してください。また、異なる色相で塗り重ねる際は、2層目の上塗り時に1層目の色のブリード（色の移行）が発生する場合があります。この場合、24時間(23℃)以上間隔を空けて、手早く塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗塗料などの詳細な使用方法については、各々のカタログをご参照ください。
- ◆ 引火性の危険物のため、取り扱いの際には製品容器の注意書および安全データシート（SDS）をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上及び取扱い上の注意

製品の危険・有害性

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒を引き起こすおそれがある。
- 目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。
- スプレーダストや塗料の付着したウエス等は発熱し、自然発火する恐れがある。

救急処置

- 目に入った場合には直ちに多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

取扱注意事項

- 取扱いは引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や、取扱いは避けてください。
- 取扱い作業所には、局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分に換気を行ってください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸入しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- 作業着などに付着した汚れをよく落としてください。
- 使用済みウエス、塗料かす、スプレーダストなどは、廃棄するまで水をはった容器に保管してください。
- よくフタをして直射日光を避け、5°C以上40°C以下の安全でかつ子どもの手の届かない場所に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の商品と混合しないでください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

施工後の安全性について

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

安全データシート(SDS)をよく読んで取り扱ってください。



ロックペイント 株式会社

東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1650 FAX (06)6473-1000
札幌営業所 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304
仙台営業所 / 〒983-0044 / 仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号渡正ビル201 ☎(022)349-8677 FAX (022)283-3255
西関東営業所 / 〒252-0131 / 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112
名古屋営業所 / 〒454-0059 / 名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433
岡山営業所 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966
福岡営業所 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ <https://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告無しに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：